

館報

庄内



庄内地区	
令和元年9月1日現在人口	
世帯数	6,980戸
男	7,382人
女	7,386人
合計	14,768人
発行	庄内地区公民館 (ゆめひろば庄内)
	電話 24-1811 FAX 24-1812

ご存知でしたか？

ここ庄内地区で、安心して心地よく暮らせるために、様々な支援や相談できる場所、窓口、そして、人がいることを！

私たちの庄内地区には、小さな赤ちゃんから高齢者まで約15000人もの方が暮らしています。この人口規模は、小さな町に匹敵します。それだけに安心して心地よく暮らせるための支援や相談できる場所や人が必要になりますよね。松本市という大きな行政区分として考えるのではなく、庄内地区として…。

そこで館報庄内地区版はシリーズ企画として、それぞれの暮らしに安心を届けられる庄内地区の情報を取り上げることになりました。編集会議で、編集委員でさえも知らない支援や相談場所等の認識不足に気づかされたからです。

この情報が、ここ庄内地区で暮らす方々にとって少しでも、「安心して心地よく暮らせるための手助け」になれば幸いです。

**赤ちゃん子育て中のヤング夫婦**

子育ての相談 どこにあるのかな？

ママ友も欲しいわ！

引きこもりの人の対応はどうしよう

一人暮らしで将来が不安だなあ

**家族・友達**

松本市や庄内地区のこと色々知りたいわ

避難所はどこかな？

私たちってどこの町会？

**一人暮らしの高齢の方**

買物どうしよう

**町会未加入で転入されてきた方**

集いの場ってあるのかしら？

老々介護が心配わ

**ご高齢のご夫婦**

児童センターへ通わせたいわ

親子で参加できる庄内の催しを知りたいわ

介護の相談はどこですればいいのかな？

デイサービスも考えたいわ

**小学生子育て中のご家族**

**ご両親を介護されている方**

### 開成中 3 年生が参加した 避難所運営宿泊訓練

開成中学校 3 学年の総合学習の一環として、生徒の皆さんがゆめひろば庄内にて避難所の開設訓練や一泊二日の宿泊体験を行いました。この訓練は地域住民との合同で行われ、今回の試みとのことです。私は地域住民の一員としてそのお手伝いをしつつ、一緒に学ぶ機会を得ました。

私たちスタッフは、生徒 30 名と教職員 22 名と共に、庄内体育館にて開会式を行い、避難所運営ビデオを視聴しました。災害時に起こりうることや避難所における様々な役割等を学んだ後、複数の班に分かれ、訓練を開始しました。

総務班と会場設営班は、避難した住民を受け入れるため、体育館内の通路や待機所等のスペースを確保する避難所レイアウト体験を行いました。避難者管理班は受付を設置した後、提出された避難者名簿の整理を行いました。

衛生班は仮設トイレを、要救助者班は簡易ベッドをそれぞれ組み立て、指定場所への設置を行いました。食事炊き出し班は夕食準備です。防災食のアルファ米や

カップみそ汁を全員分準備しました。

これ以外にも、消防団が所有する無線機の操作学習と通信訓練を行いました。

夕食後、校長先生、教頭先生、そして先生・生徒の希望者が訓練会場に一泊し、翌日学校へ登校していききました。



仮設トイレを設置する参加者たち

私は避難所レイアウト体験の担当で、中学生に訓練の目的、レイアウト図の見方、資機材の配置場所を説明すると、後は中学生同士で選んだ班長さんが、仲間たちに指示を出し、手際よくかつ主体的に訓練をこなしていました。また、問題が起きると一旦皆で相談をして、必要な時にはスタッフに確認して問題を解決していました。各班共に、それぞれの体験訓練を積極的に行っていました。

今回の訓練から、災害が起きた時でも、目的をよく説明して指示をしてあげれば、中学生たちが大変頼もしいメンバーになると強く感じました。

### 庄内地区の子ども達が 公民館にお泊り体験

8 月 9 日、庄内地区子ども会育成会の主催による「公民館お泊り会」が開かれました。今年のお泊り会では、大雨による水害や地震災害等における避難所生活の模擬体験が行われ、庄内地区の小学校 5、6 年生 16 名が参加しました。

子ども達は、ダンボールベッド、簡易トイレ、リヤカーの組み立てや、傷病者をそのまま搬送できる簡易ベッドの取り扱いについて学びました。夕食のカレーでは、ごはんを防災食のアルファ米に変える等、食事の工夫も。このお泊り会には、庄内地区町内公民館長会のご協力をいただき、様々な防災資機材の組み立てのお手伝いの他、小学生たちへちよっとした防災グッズをプレゼントしていただきました。

参加者は日常とは少し異なる体験にわくわくしながら楽しいひと時を過ごしていたと思います。



負傷者の搬送体験

### 夏祭り

並柳団地第五回夏の交流祭が、8 月 24 日 (土) に開催されました。団地に住む大勢の住民が交流し、絆を深め合うことを願ったイベントです。おいしい飲み物や食べ物、沢山用意し、流しそうめんやビンゴゲームで盛り上がり、大人と子供も楽しいひとときを過ごしていました。特に子供たちにとってはひと夏の思い出として、記憶に残ったのではないかと感じます。

こうした交流祭が今後も長く続き、並柳団地に住む住民同士の絆や結束が高まればと思います。



流しそうめんを楽しむ子どもたち

### コラム

長年、選挙事務所を手伝い、そこで感じた事があります。

松本市を良くしようとする志を持つ候補者の応援に、市民や企業が選挙事務所に集まります。そこは情報交換や依頼の場であり、時には熱のこもった話し合いがありました。いかに候補者の考え方を広げ、票を入れていただくかの話で、私は小間使いをしつつ、その話を聞いておりました。朝昼晩の食事提供やお茶出しをする等、忙しい日々でしたが、色々な知り合いも増えました。選挙法が改正された頃から選挙事務所の様子が変わりました。闊達な議論や人の賑わいがない、寂しさを感じています。

私は、公民館活動は地区をより良くし、かつ自分を高められる場だと思っています。その点が選挙活動と似ているように感じるので。

近年、公民館活動を担おうとする人が減り、活動もマンネリ化している気がします。

庄内地区をより良くしたいと考える皆さん、かつての選挙事務所のような熱気を抱き、公民館活動に新しい風を吹き込んでみませんか。(K・N)